

# 肥のあかり

販売期間  
9月下旬  
▼  
10月上旬



全国から注目の極早生みかんが誕生。

10月上旬に出荷される従来の極早生みかんよりさらに熟期が早く、9月下旬には市場へ出荷される極早生みかん『肥のあかり』。注目の熊本県オリジナル新品種について、「熊本果樹研究会」の松本哲海温州みかん部部长が語ります。



「高い糖度と  
抜群の食味を備える」



「その年のミカンを占う先鋒を務める」

『肥のあかり』は、日南1号とジョッパオレンジを交配してできた品種です。収穫されたものの中から厳しい検査を行って、糖度10度以上、クエン酸1・0%以下の基準をクリアしたもののだけを『肥のあかり』として出荷します。涼やかなグリーンの外観と輝くオレンジ色の果肉、糖度が高く、適度な酸味があり、糖と酸のバランスがとれていることと食味という数字では表せない旨味をもつことがこの新品種の特長です。さらに、実の締まりがよく、房がしっかりと詰まっているので、輪切りにすると中心に空洞がほとんどないことを確認していただけはらずです。

『肥のあかり』は、9月下旬からの出荷。熊本はもとより全国に先駆けて販売されるミカンです。従来の品種と比べて、「余計に摘果が必要」「秋雨により裂果してしまう」といった点で私たちに掛かる負担は大きいのですが、その分、品質には絶対の自信を持っています。どのミカンよりも早く出るからこそ、『肥のあかり』がおいしくなければ消費者には熊本のミカンは美味しくない、ひいては全国のミカンが美味しくないという印象を与えてしまいますから、手は抜けません。熊本が誇る温州みかん期待の新星として、リレー出荷の先陣を切り、熊本県下統一の段ボールで出荷します。

